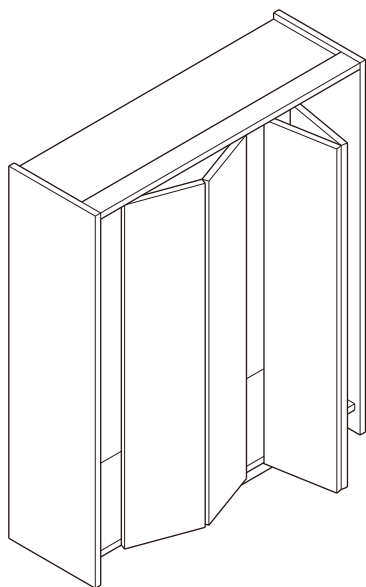


このたびは、マルチフォールド 30 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品は、キャビネットの折れ戸扉用として設計されたものです。このほかの目的には使用しないでください。作業を行う前に、必ずこの取付説明書をお読みください。



■取り付けできる扉

| | |
|--------|----------------------|
| 質量 | 30 kg以下（1枚当たり） |
| 高さ | 2600 mm以下 |
| 幅 | 200～500 mm |
| 厚さ | 19～25 mm |
| 床とのすき間 | 10 mm（床にレールを設置したとき。） |
| 高さ調整 | ±2 mm |
| 垂直目地幅 | 3 mm |

⚠ 警告

誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをする恐れがあります。本書の説明、注意事項をお守りください。

本書について

本取付説明書は、一つの現場に一か所のマルチフォールド 30を取り付けることを想定したうえで、もっとも安全かつ効率的に取り付けできるとされる方法を記載しました。必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。作業される方におかれましては、専門家としてのノウハウをお持ちのことと考えておりますので、この取付説明書に記載された方法にとらわれず、専門知識と経験に基づいて製作してください。その場合においても、事前にこの取付説明書に一度は必ず目を通してくださるようお願いいたします。

また、本製品には外国語版取付説明書も付属されていますが、本書をお読みいただければ、外国語版取付説明書をお読みいただかなくても良いように構成しております。

免責について

現場の状況や取付作業の結果としての品質は、当社の影響の及ばないいくつかの要素から成り立っています。したがって当社では、これらが原因となって発生した副次的な損失や損害、または出費についての責は負えませんので、ご容赦させていただきます。ご理解のうえ、ご了承いただきますようお願いいたします。

I. 部品の内訳

お願い

商品が届いたらすぐにケースを開き、内容物の数と状態の確認を行ってください。
万一、不足や不備があったら、作業せずに直ちに当社までご連絡ください。

1 セットに含まれている部品

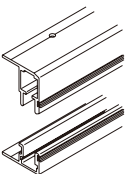
| デザインモデル | 略図 | 部品番号 |
|--------------------|----|-------|
| 両側にキャビネットの側板がつくモデル | | 15037 |
| 片側にキャビネットの側板がつくモデル | | 15276 |
| 両側に別のドアセットがつくモデル | | 15039 |


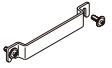

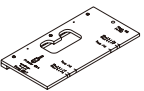
※ 丸番号は、13ページからの取付手順の説明と対応しています。

| 部品 | | | 数量 | | | 部品と取付説明書 | | | 数量 | | |
|---------|--|--|-------|-------|-------|----------|----------------|--|-------|-------|-------|
| | | | 15037 | 15276 | 15039 | | | | 15037 | 15276 | 15039 |
| ① | | 上ローラ | 2 | 2 | 2 | ⑧ | | 上ストッパ | 2 | 1 | - |
| ② | | 上ブラケット | 2 | 2 | 2 | ⑨ | | 下ストッパ | 2 | 1 | - |
| ③ | | 下ガイド(ショート) | 2 | 1 | - | ⑩ | | ねじセット 15037用 ⑩a 六角穴付きボルト M6×10 … 4本 ⑩b スペーサ …… …… 2個 ⑩c 六角穴付きボルト M5×16 … 6本 | 1 | - | - |
| ④ | | 下ガイド(ロング) | - | 1 | 2 | | | ねじセット 15276用 ⑩a 六角穴付きボルト M6×10 … 4本 ⑩b スペーサ …… …… 3個 ⑩c 六角穴付きボルト M5×16 … 6本 | - | 1 | - |
| ⑤ | | 十字穴付き皿タッピンねじ 4×16 …… …… 24本 | 1 | 1 | 1 | | | ねじセット 15039用 ⑩a 六角穴付きボルト M6×10 …… 4本 ⑩b スペーサ …… …… 4個 ⑩c 六角穴付きボルト M5×16 …… 6本 | - | - | 1 |
| ⑥ | | ドアキャッチ …… …… 1個 十字穴付バインドタッピンねじ 4×16 …… …… 3本 | 1 | 1 | 1 | - | 日本語版 取付説明書(本書) | 1 | 1 | 1 | |
| ⑦ ※1 | | かくしセンターヒンジ …… …… …… 1個 十字穴付き皿タッピンねじ 4×16 …… …… 4本 | 3 | 3 | 3 | - | 外国語版 取付説明書 | 1 | 1 | 1 | |

※1 ドアパネルの大きさによっては、4個お使いいただくことがあります。
この場合は、「かくしセンターヒンジ 部品番号 14904」でご注文ください。

2 必要な部品とオプション部品

| 必要な部品 | | 部品番号 | |
|-------|---|---------|-------|
| ⑪ |  | 1100 mm | 15024 |
| | | 1800 mm | 15025 |
| | | 2500 mm | 15026 |
| | | 3500 mm | 15027 |

| オプション部品 | | | 部品番号 | |
|---------|--|-------------------|-------|-------|
| ⑫ |  | シール：白 | 5 m | 15227 |
| | | | 10 m | 15228 |
| | | シール：黒 | 5 m | 15224 |
| | | | 10 m | 15225 |
| ⑬ |  | 折れ戸用接続エレメント | 14933 | |
| ⑭ ※1 |  | アライナ 1組 | 14906 | |
| ⑮ ※2 |  | 加工治具 | 14761 | |

※1 アライナ⑭はドアセット2組以上のときに用います。そのとき使う数は、(ドアセットの数-1)です。

※2 切削には、トリマおよびストレートビット径 14 mm、テンプレートガイド 外径 27 mmが必要です(12ページをご覧ください。)

3 その他の現場手配品

- ⑯ レール取付用 ねじ M4
- ⑰ レール取付用 ナット M4
- ⑱ レール取付用 平座金 呼び 4
- ⑲ かいもの (厚さ 10 mm)
- ⑳ 厚さ 3 mmのスペーサ

4 取り付けに必要な工具など

- ・ 電動ドリル
- ・ アルミニウム型材を切断できる機械または工具
- ・ きり 径 2.5、4.3
- ・ 六角棒スパナ 呼び 3、4
- ・ 十字ねじ回し

お願い

レールの穴について

レールには既に穴が開いていますが、その間隔が違ふことがあります。レールを取り付ける側に先に穴を開けなければならないときは、レールに別に穴を開けるか、既にレールに開いている穴と同じ間隔でキャビネットに穴を開けてください。

ねじの下穴径について

タッピンねじで止める場所には、下穴の径を表示してあります。表示してある径は、MDFを基準としてあります。これと異なる材料においては、この寸法では適用できないことがあります。この場合には、表示の径より 1 mm程度、小さな径のきりで下穴を開けるなどしてご確認ください。

本書に使用されている語句・用語について

- ・ 本書に使用されている部品名などは、弊社カタログなどに記載されているものと異なる場合があります。ご了承ください。
- ・ この製品は、複数の折れ戸を取り付けることができます。2枚のドアパネルからなる折れ戸を、本書では「ドアセット1組」と呼びます。
- ・ 本書では、上下のレールについて共通の説明を行うときがあります。この時は、上下のレールを総称して「レール」と呼びます。

II. 寸法図

この取付説明書で使っている寸法は、加工や組立による誤差や、材料そのものの変形などを考慮していません。作業においては、このことをご考慮のうえ、切断などの加工を行ってください。

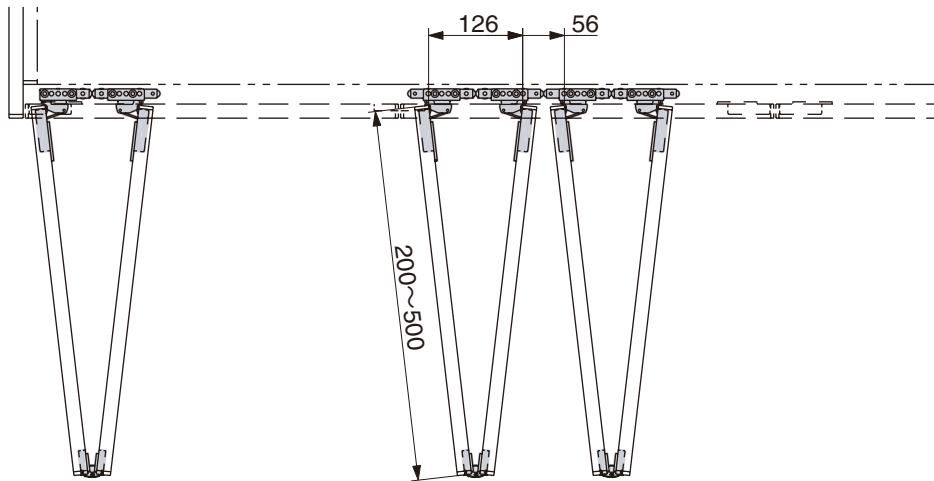
※ ドアパネルに部品が組み込まれている場所の寸法は、部品の寸法です。加工寸法ではありませんのでご注意ください。
※ 寸法のうち“以上”、“以下”を含んだ寸法は、その範囲ならどこにでも取り付けられることを表していますが、なるべく表示寸法を採用するようにしてください。その寸法では取り付けできないときは、その側にだけ、わずかに動かせるとご解釈ください。

※ ～を含んだ寸法は、両端の数字を含んでおり、この数値の間はどれを採用されても問題ありません。

※ 本説明書に記載されている図の寸法単位は、ミリメートル [mm] です。

1 ドアセットを開いた状態

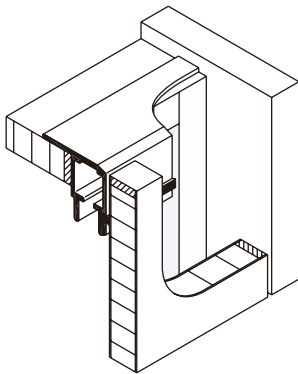
※ 3組のドアセットをお使いのときの図を示しています。



〔図 II-1-1〕

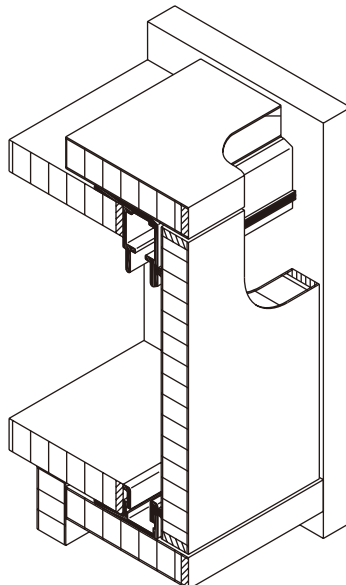
2 キャビネットのデザイン見取図

<インセットドアのデザイン例>

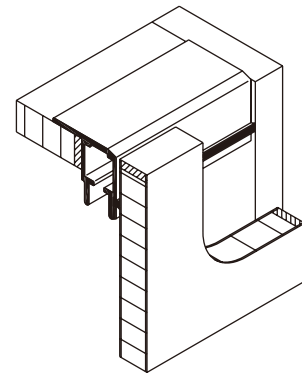


〔図 II-2-1〕

<かぶせドアのデザイン例>



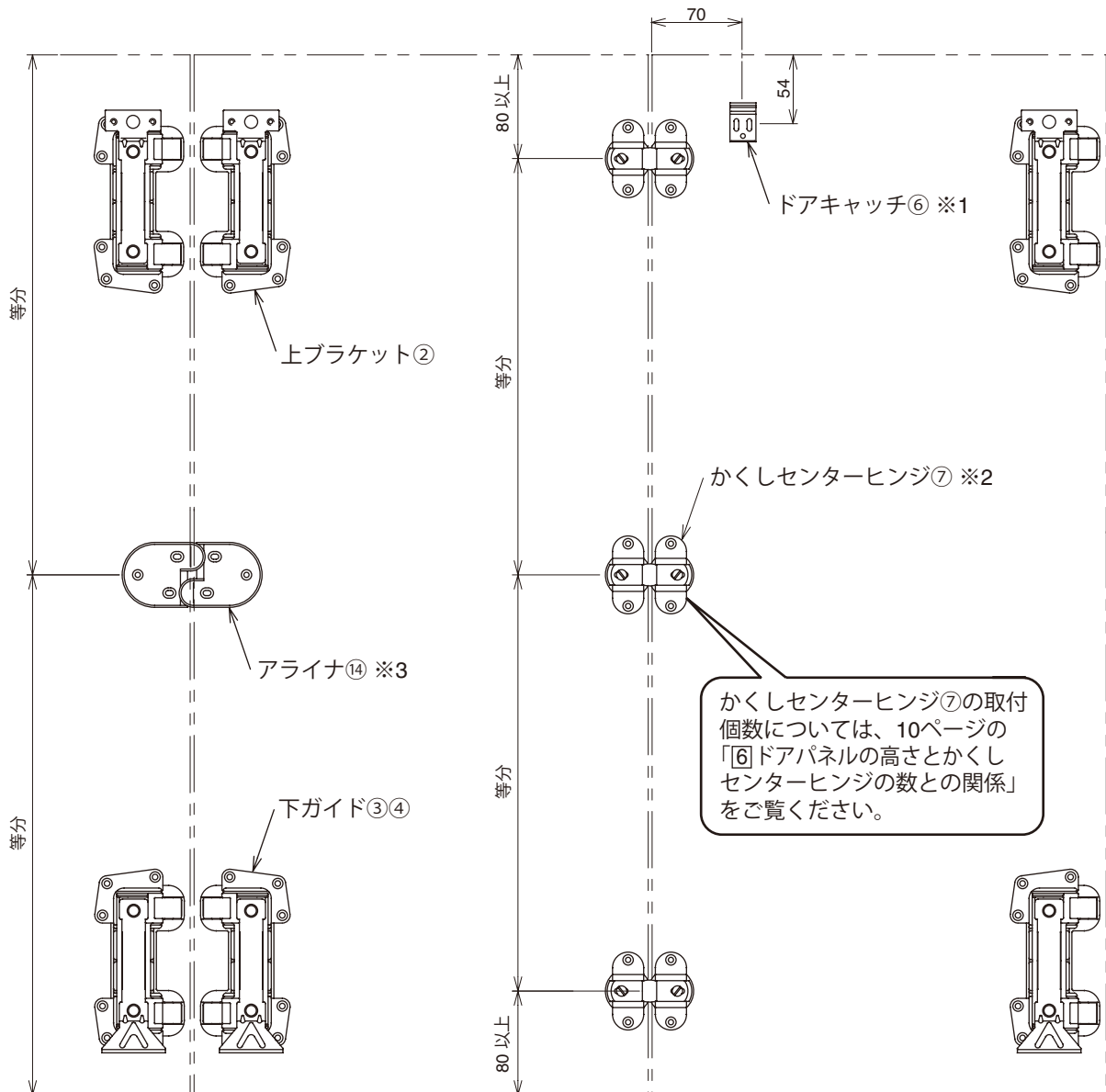
〔図 II-2-2〕



〔図 II-2-3〕

3 取り付ける部品の配置と加工寸法

1. ドアパネルに取り付ける部品の配置



〔図Ⅱ-3-1〕

※1 ドアキャッチ⑥: 取り付けるドアパネルは、どちらの側でも問題ありませんが、2組以上のドアセットをお使いの場合は、キャビネット側板に遠い方のドアパネルに取り付けてください。

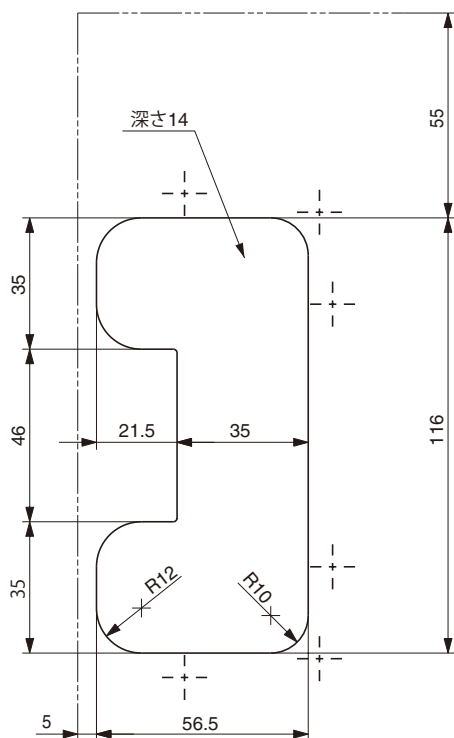
※2 かくしセンターヒンジ⑦: ドアパネルの高さが 800 mm以下のときは、2個になります。

※3 アライナ⑭: 2組以上のドアセットをお使いのときに取り付けてください。

2. ドアパネルの加工

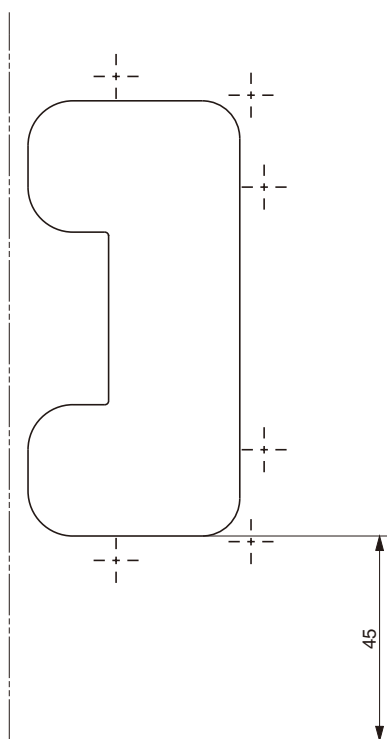
---の箇所は、現物合わせで取り付けてください。

(1) 上ブラケット取付穴



〔図 II-3-2〕

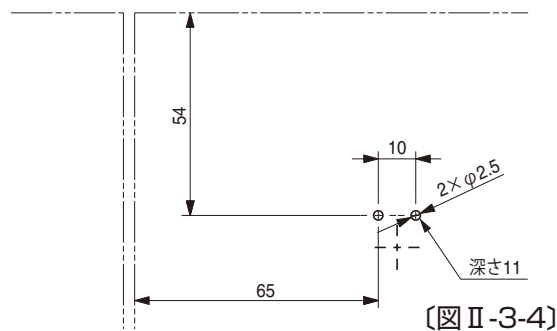
(2) 下ガイド取付穴



〔図 II-3-3〕

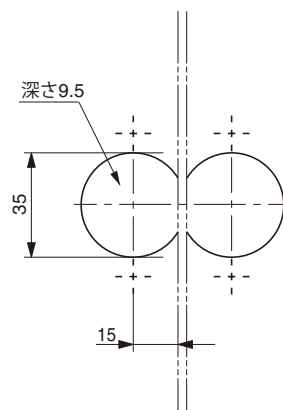
(3) ドアキャッチ取付穴

(5ページの図II-3-1の※1をご覧ください。)



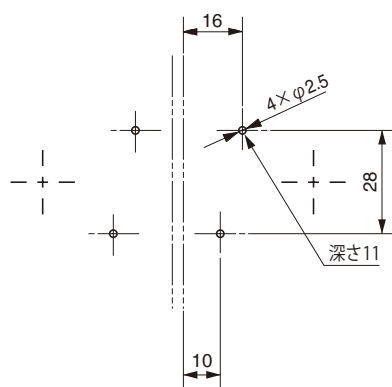
〔図 II-3-4〕

(4) かくしセンターヒンジ取付穴



〔図 II-3-5〕

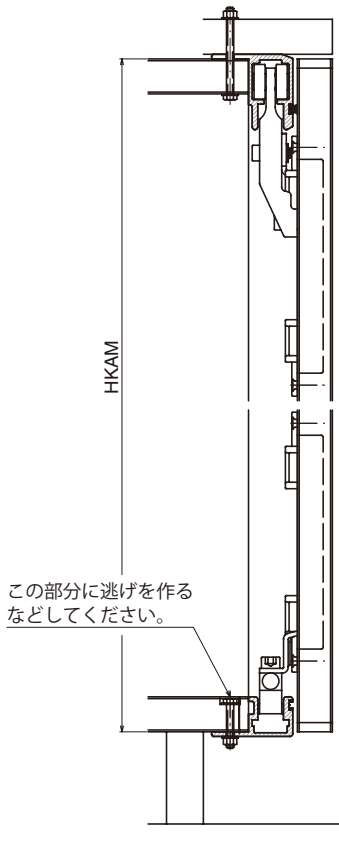
(5) アライナ取付穴



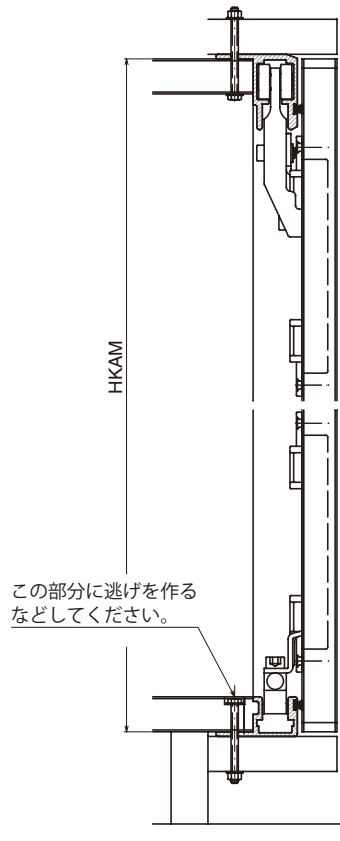
〔図 II-3-6〕

4 ドアパネル断面

<インセットドアのデザイン例> 各部位の寸法は右図をご覧ください。

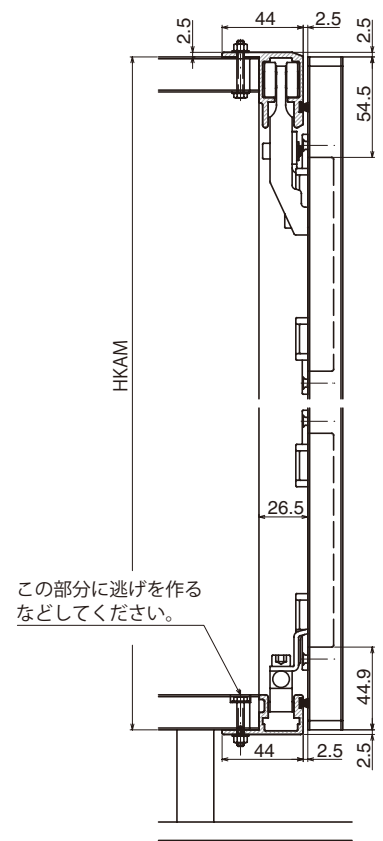


〔図 II-4-1〕



〔図 II-4-2〕

<かぶせドアのデザイン例>

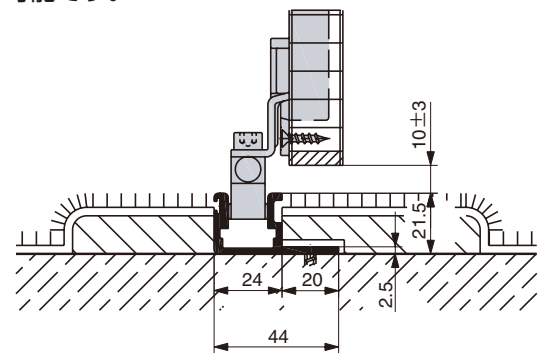


〔図 II-4-3〕

ドアパネルの高さ:HKAM
=キャビネット地板下面から天板上面までの高さ

下レールは、キャビネット地板ではなく、床面に直接取り付けることも可能です。

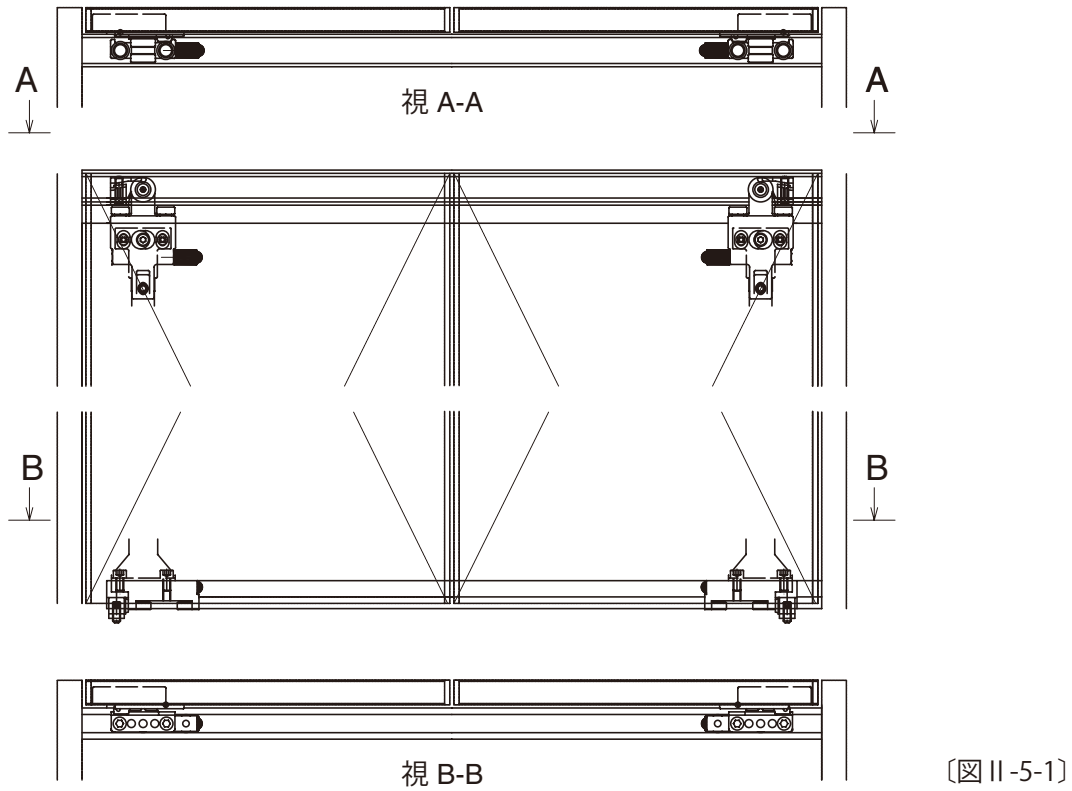
ドアパネルの高さ:HKAM
=下レール取付面から天板上面までの高さ - 31.5



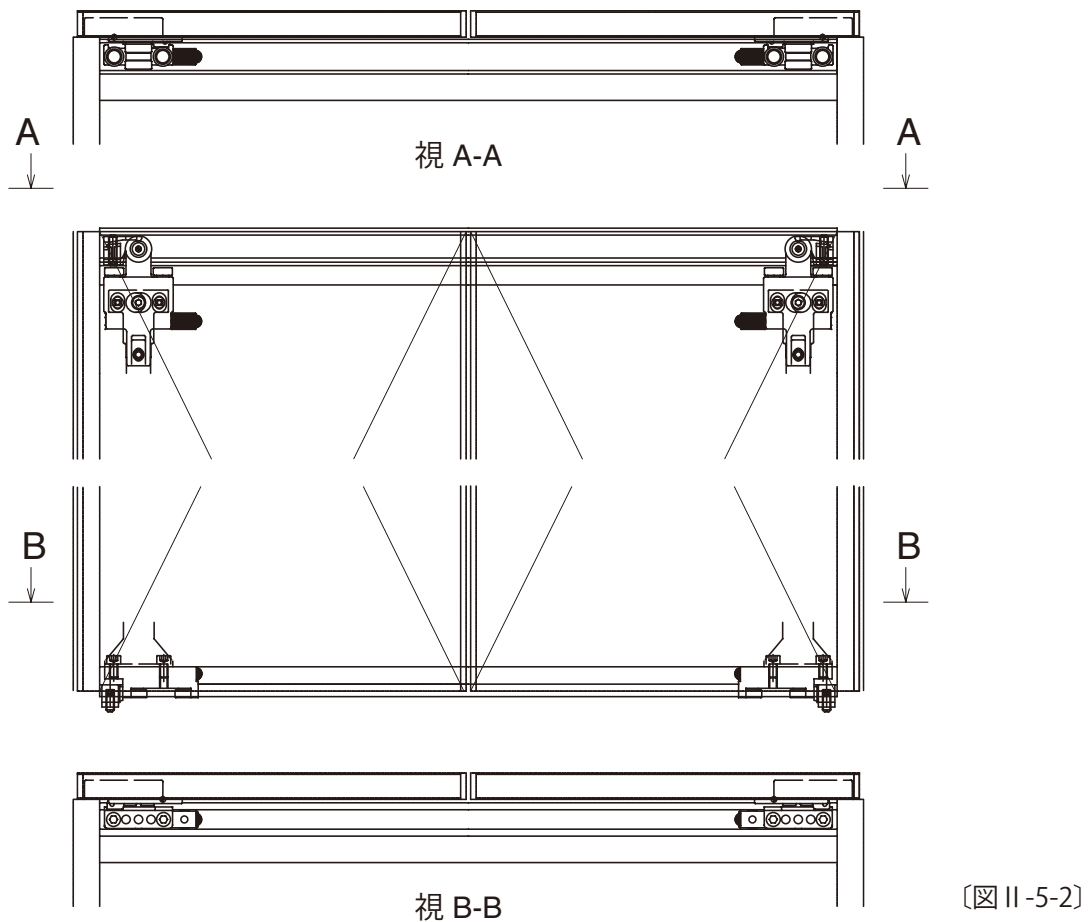
〔図 II-4-4〕

5 レール、ブラケット、ガイドおよびドアパネルの取付位置（キャビネットの内側から見た図です。）

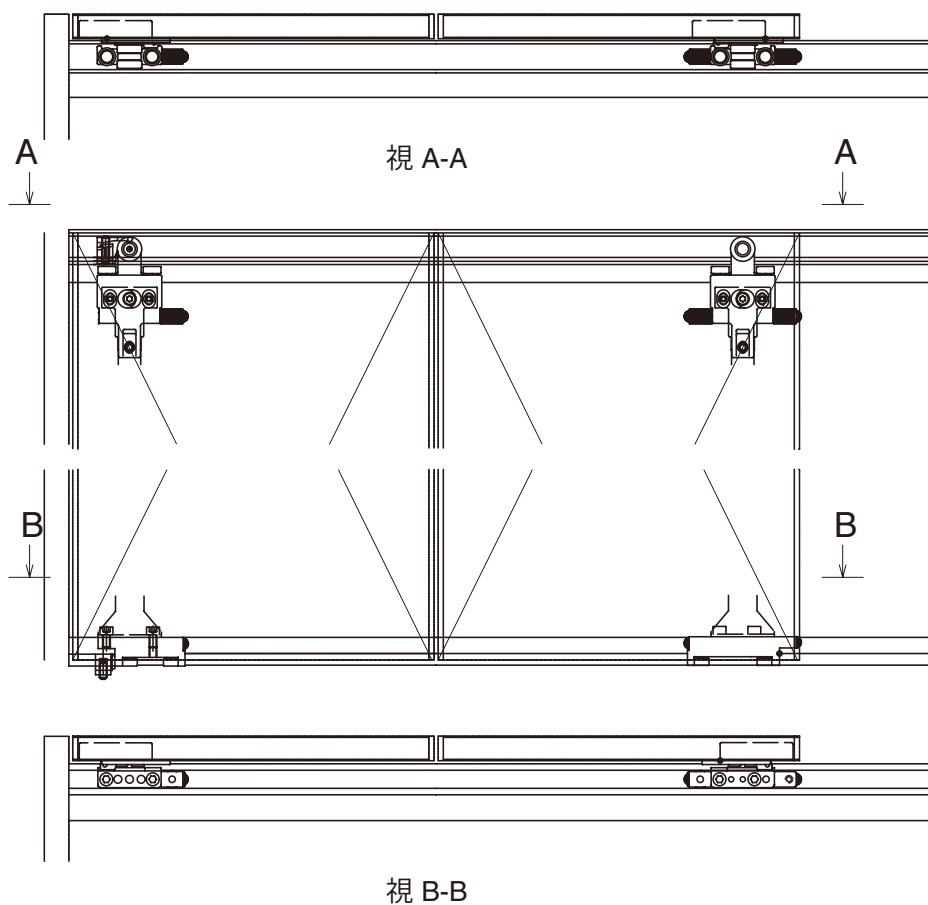
(1) インセットタイプで、両側が側板(1組のドアセット)のとき(15037)



(2) かぶせタイプで、両側が側板(1組のドアセット)のとき(15037)

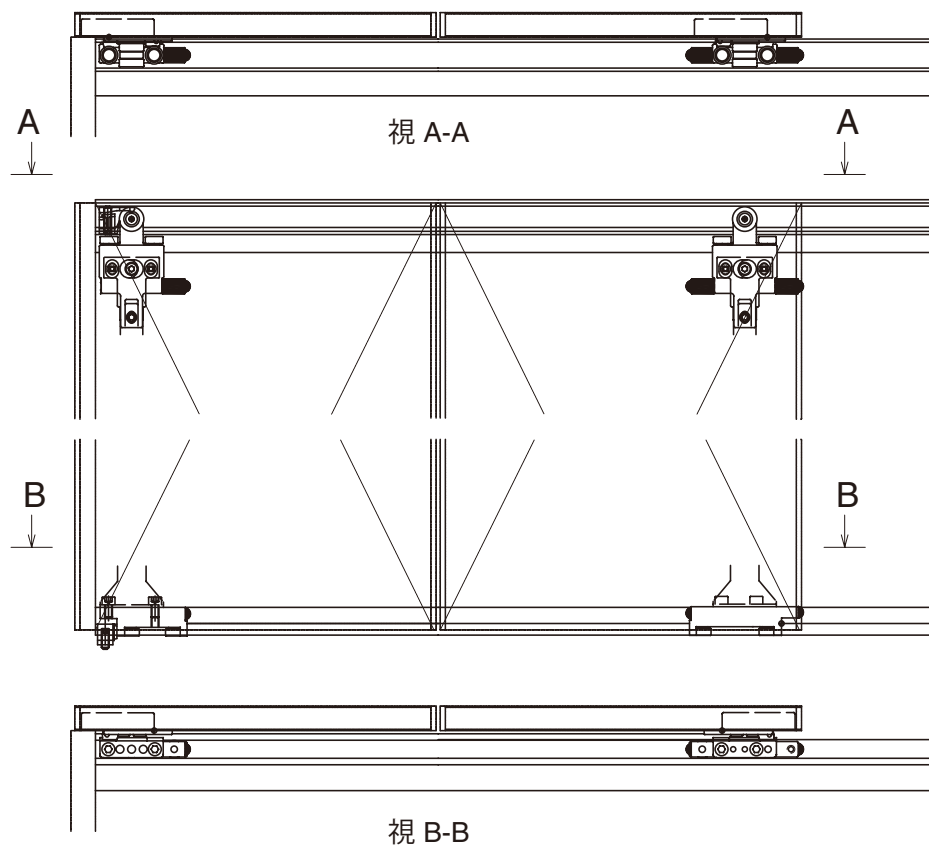


(3) インセットタイプで、片側が側板(2組以上のドアセット)のとき(15276)



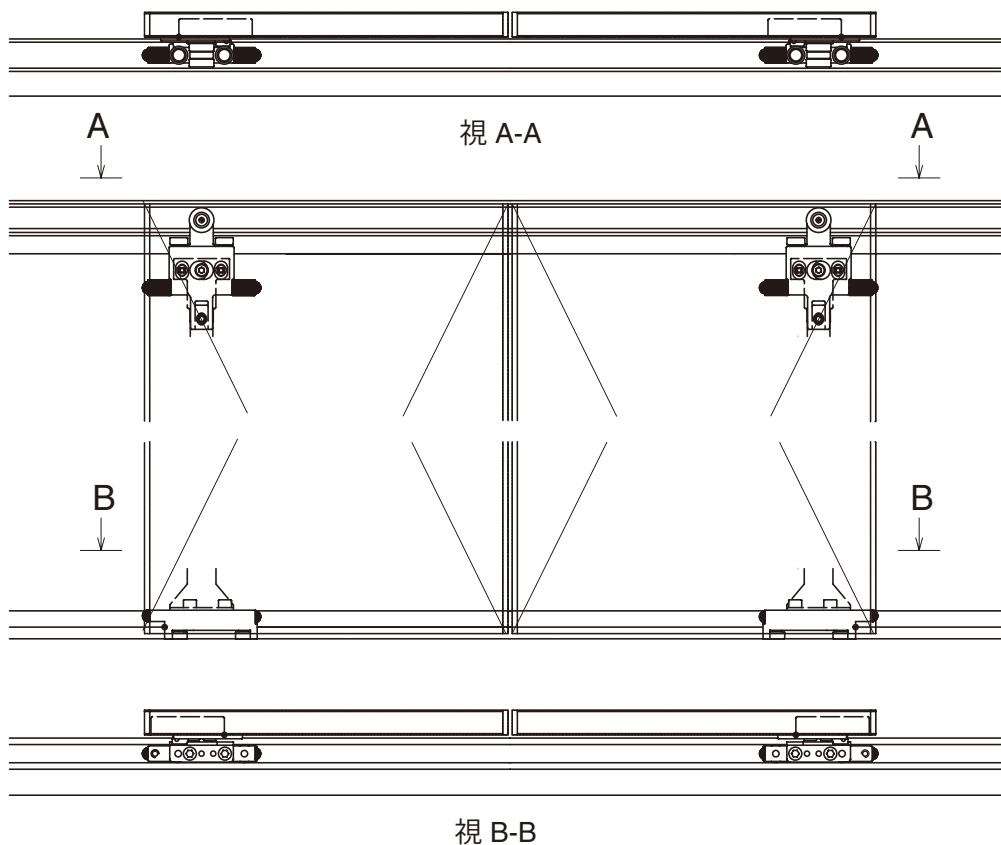
[図 II-5-3]

(4) かぶせタイプで、片側が側板(2組以上のドアセット)のとき(15276)



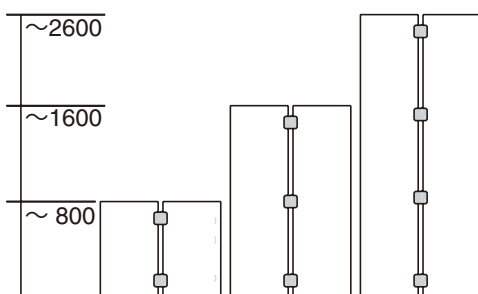
[図 II-5-4]

(5) 両側にドアセットが連続するとき(15039)



〔図Ⅱ-5-5〕

6 ドアパネルの高さとかくしセンターヒンジの数との関係



〔図Ⅱ-6-1〕

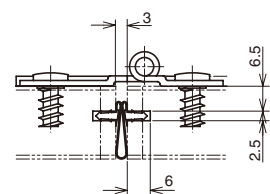
| ドアパネルの高さ [mm] | かくしセンターヒンジの数 |
|---------------|--------------|
| 800 以下 | 2 |
| 801~1600 | 3 |
| 1601~2600 | 4 |

(1) かくしセンターヒンジ(□印)の位置は、5ページの図Ⅱ-3-1をご覧ください。

7 ドアパネルの間隔

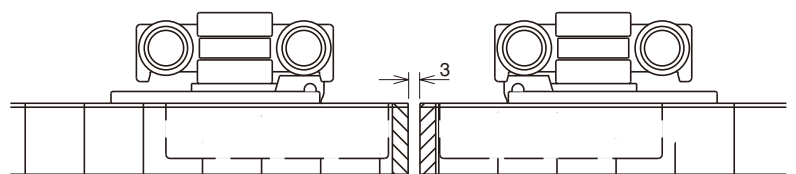
(1) ドアセット内のドアパネルの合わせ目の間隔(センターヒンジが取り付く部分)は、3 mmにしてください。

※ 右図はオプションのシール⑩を取り付ける場合の例です。これを取り付けない場合は、深さ 6 mmの溝も不要です。



〔図Ⅱ-7-1〕

(2) ドアセット間のドアパネルの合わせ目の間隔は、3 mmにしてください。



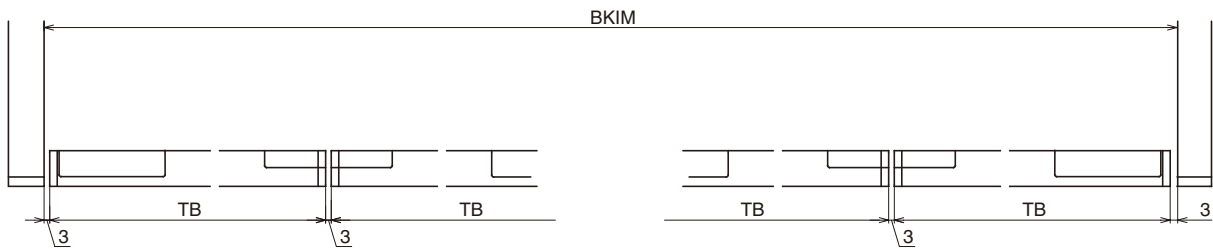
〔図Ⅱ-7-2〕

8 ドアパネルの幅

1. ドアパネルの幅の計算

以下の図と計算式を用いて、ドアパネルの幅を算出してください。

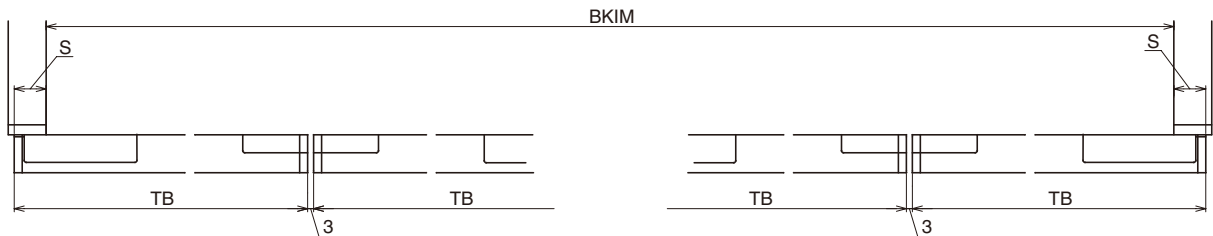
(1) インセットドアのとき。



〔図 II-8-1〕

ドアパネルの幅:TB
= {BKIM-3×(n+1)}/n
ここに、n はドアパネルの枚数

(2) かぶせドアのとき。



〔図 II-8-2〕

ドアパネルの幅:TB
= {BKIM+2×S-3×(n-1)}/n
ここに、n はドアパネルの枚数
S はかぶせ代

2. ドアパネルの幅の端数処理方法

※ キャビネットの寸法がミリメートル単位で丸めている場合、ドアの幅を上式の式で計算すると端数が出る場合があります。

このような時は、次の方法で処理してください。この方法は、決定的な対処方法はありません。ドアパネル同士のすき間を均等化することでデザイン的に問題を解決する方法です。

(1) 計算値にかかわらず、ミリメートル単位に切り捨ててください。

※ 切り上げたり四捨五入したりするとインセットドアの場合、キャビネットの中に収まらないことがあります。

(2) センターヒンジの長丸穴を利用してすき間を調整してください。

<1> アライナの長丸穴はこの調整範囲を見込んでいます。取付後に再調整してください。

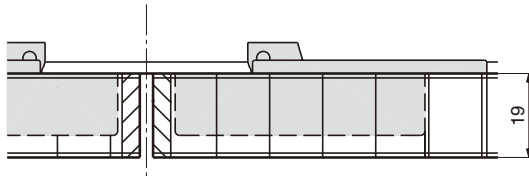
9 ドアパネルの角部の処理 (2組のドアセットの場合)

どの場合も、ドアパネルの総厚みは 25 mmを超えず、質量は 30 kg以下にしてください。

※ ドアパネルの厚みとその角部の加工についての関係寸法です。

(1) ドアパネルの厚みが 19 mmのとき(図Ⅱ-9-1)。

<1> 理論上は、角部の加工は不要です。

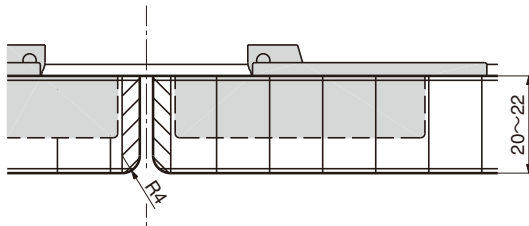


〔図Ⅱ-9-1〕

<2> ドアパネルの上に更に板を貼る場合は、(4)をご覧ください(図Ⅱ-9-3の右側)。

(2) ドアパネルの厚みが 19 mm を超え、22 mmまでの範囲にあるとき(図Ⅱ-9-2)。

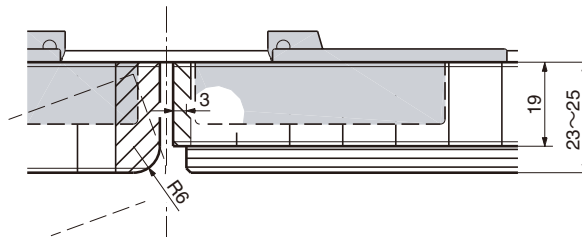
<1> 角部に半径 4 mm の丸みをつけるか、4 mmで面取りを施してください。



〔図Ⅱ-9-2〕

(3) ドアパネルの厚みが 22 mmを超え、25 mmまでの範囲にあるとき(図Ⅱ-9-3の左側)。

<1> 角部に半径 6 mmの丸みをつけるか、6 mmで面取りを施してください。



〔図Ⅱ-9-3〕

(4) ドアパネルに別の板状のものを貼るとき(図Ⅱ-9-3の右側)。

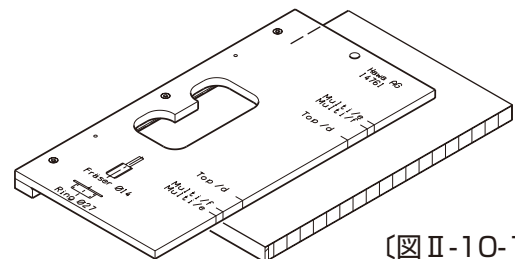
<1> 厚み 19 mmのドアパネルに貼るときは、ドアパネルの合わせ目の端から 3 mm逃がしてから貼ってください。

<2> 厚みが 19 mmを超えるドアパネルに貼るときは、図Ⅱ-9-2のようなR4の丸みを逃がしてから貼ってください。

10 加工治具

※ この治具をお使いのときは、外径 27 mmのテンプレートガイドを用いて、径 14 mm のストレートビットをお使いください。

(1) Multi/e の表示は、ハンガー取付穴の位置を求めるとき印です。ここに、ドアの上辺を合わせてください。



〔図Ⅱ-10-1〕

Ⅲ. 取付手順

1 ドアパネルの寸法を確認します。

(1) 設計図面に従って、ドアパネルの寸法を確認してください。

(2) マルチフォールド 30の各部品が取り付け穴を確認してください(5ページからの図Ⅱ-3-1～図Ⅱ-3-6)。

2 キャビネットの寸法を確認します。

(1) 設計図面に従って、キャビネットの寸法を確認してください。

3 レール類を切断します。

(1) 上レール⑪aと下レール⑪bに付いているブラシ⑪cをいったん引き抜いてください。

※ 後で付け直しますので、ていねいに引き抜いてください。

(2) 上レール⑪aと下レール⑪bおよびブラシ⑪cを図面に従って切断してください。

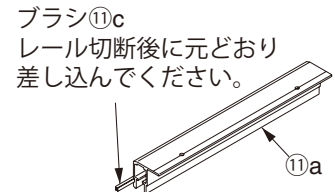
※ 上レール⑪aと下レール⑪bには取付用の穴が開いていますが、その間隔は一定ではありません。

※ 切断したとき、端から 50 mm以内に取付穴が残らないことがあります。そのときは、端から 50 mm以内に、径 4.3 mm の穴を開けてください。

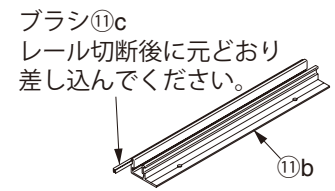
※ 切断面および加工面の切粉やバリまたは返りがないように、きれいに掃除してください。

これらが残ると、ドアがスムーズに動かなかったり、騒音が発生する恐れがあります。

(3) ブラシ⑪cを元どおり差し込んでください。



〔図Ⅲ-3-1〕



〔図Ⅲ-3-2〕

4 上レールを仮組みします。

(1) 上ストップ⑧、上ローラ①はドアパネルの枚数の2倍の数、上ストップ⑧の順で、これらを上レール⑪aに組み込んでください(図Ⅲ-4-1)。

(2) スペーサ⑩bを上ローラ①に組み込んでください(図Ⅲ-4-1の円内)。

※ スペーサ⑩bは、モデルによって取り付ける位置が違います(8ページからの図Ⅱ-5-1～図Ⅱ-5-5)。

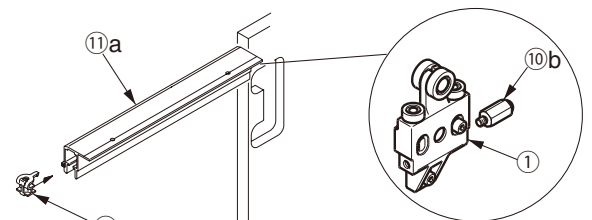
(3) 組み込んだ部品を仮固定してください。

<1> 上ストップ⑧の隣の上ローラ①を上ストップ⑧にそれぞれ噛ませてください。

<2> 組み込んだ他の部品を上ストップ⑧ではさみ、これらが上レール⑪a内を動かないように上ストップ⑧を軽くねじ止めしてください。

※ 作業中にレールを振り回した際、上ローラ①が不意に動いて思わぬけがをする恐れがあります。

これを防ぐために、このようにしてください。



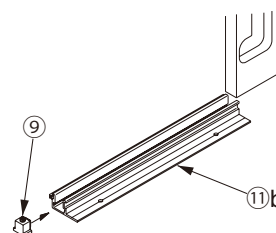
〔図Ⅲ-4-1〕

- ① 上ローラ
- ⑧ 上ストップ
- ⑩b スペーサ
- ⑪a 上レール

5 下レールを仮組みします。

(1) 下ストップ⑨を下レール⑪bの両端に組み込んでください。

(2) 下ストップ⑨を下レール⑪bから落ちないように軽くねじ止めしてください。



〔図Ⅲ-5-1〕

- ⑨ 下ストップ
- ⑪b 下レール

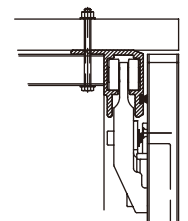
6 金物をキャビネットに取り付けます。

この項においては、以下のことをご考慮ください。

<1> 平座金(現場手配をお願いします。)は、座面の大きい種類のものを小ねじやナットがレールや木部に直接接触する場所に組み込んでください。

これは、ねじ頭がキャビネットやレールにめり込んで、ねじが十分に締まらなかつたりゆるんだりすることを防ぐ効果があります。

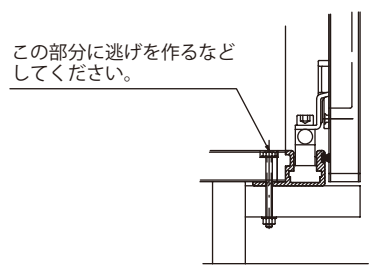
<2> ねじ類とキャビネットの天板や地板が干渉するときは、その部分に逃げなどを作ってください。



〔図Ⅲ-6-1〕

(1) 上レール⑩aをキャビネットに、M4小ねじ・ナット・平座金(それぞれ、現場手配をお願いします。)で取り付けてください(図Ⅲ-6-1)。

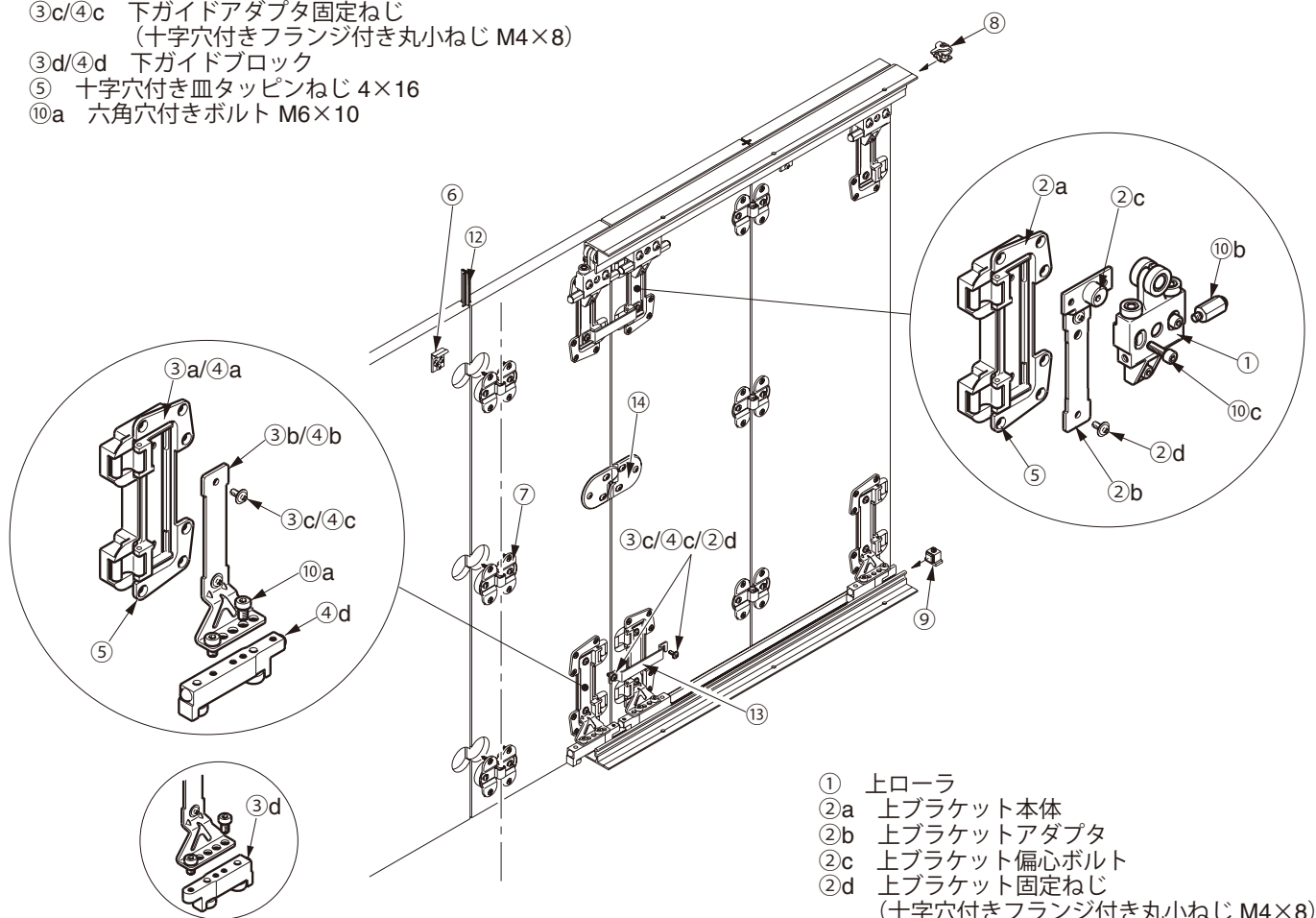
(2) 下レール⑩bをキャビネットに、M4小ねじ・ナット・平座金(それぞれ、現場手配をお願いします。)で取り付けてください(図Ⅲ-6-2)。



〔図Ⅲ-6-2〕

7 金物をドアパネルに組み込みます。

- ③a/④a 下ガイド本体
- ③b/④b 下ガイドアダプタ
- ③c/④c 下ガイドアダプタ固定ねじ
(十字穴付きフランジ付き丸小ねじ M4×8)
- ③d/④d 下ガイドブロック
- ⑤ 十字穴付き皿タッピンねじ 4×16
- ⑩a 六角穴付きボルト M6×10



- ① 上ローラ
- ②a 上ブラケット本体
- ②b 上ブラケットアダプタ
- ②c 上ブラケット偏心ボルト
- ②d 上ブラケット固定ねじ
(十字穴付きフランジ付き丸小ねじ M4×8)
- ⑤ 十字穴付き皿タッピンねじ 4×16
- ⑩b スペーサ
- ⑩c 六角穴付きボルト M5×16

〔図Ⅲ-7-1〕

※ スライド丁番の付く側のパネルを"回転側ドアパネル"、スライド丁番の付かない側のドアパネルを"スライド側ドアパネル"と呼びます。

(1) 2枚のドアパネルをキャビネットの内側を上にして、水平で安定したところに取り付ける向きに並べて置いてください。

※ ドアパネルのすき間の寸法を保つために、厚さ 3 mmのスペーサをこれらのドアパネルのすき間にはさんでください。

(2) 上ブラケット本体②aをドアパネルに取り付けてください。

<1> 上ブラケット本体②aをドアパネルの穴に組み込んでください。

<2> 十字穴付き皿タッピンねじ 4×16⑤の下穴は、上ブラケット本体②aとドアパネルの縁とが直角になるように、現物合わせで開けてください。

<3> 上ブラケット本体②aを十字穴付き皿タッピンねじ 4×16⑤でドアパネルに取り付けてください。

<4> 上ブラケットアダプタ②bを上ブラケット本体②aに上ブラケット固定ねじ②dで取り付けてください。

(3) 下ガイド本体(ショート)③aまたは/および下ガイド本体(ロング)④aをドアパネルに取り付けてください。

<1> 下ガイド本体③aまたは/および④aをドアパネルに組み込んでください。

<2> 十字穴付き皿タッピンねじ 4×16⑤の穴は、ドアの縁との直角を保たせて、現物合わせで開けてください。

<3> 下ガイド本体③aまたは/および④aを十字穴付き皿タッピンねじ 4×16⑤でドアパネルに取り付けてください。

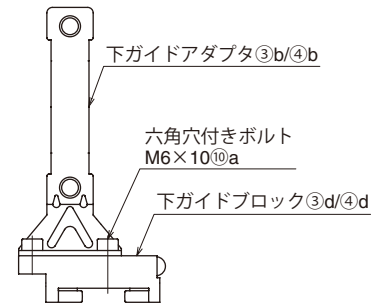
<4> 下ガイドブロック③dまたは/および④dを下ガイドアダプタ③bまたは/および④bに六角穴付きボルト M6×10⑩aで、六角棒スパナ 呼び 4 を使って取り付けてください(図Ⅱ-7-2)。

※ 下ガイドブロック③dまたは/および④dと下ガイドアダプタ③bまたは/および④bを取り付けるときに使う穴は、6ページの図Ⅲ-3-2～図Ⅱ-3-3をご覧ください。

※ 下ガイドブロック③dまたは/および④dの取付位置と向きはマルチフォールド 30のタイプによって違います。8ページからの図Ⅱ-5-1～図Ⅱ-5-5をご覧ください。

※ 下ガイドブロック③dまたは/および④dは、ゴムがとびだしている方をドアセットの外側に向けてください。

<5> 下ガイドアダプタ③bまたは/および④bを下ガイド本体③aまたは/および④aに、下ガイドアダプタ固定ねじ③cまたは/および④cで取り付けてください。



〔図Ⅲ-7-2〕

(4) かくしセンターヒンジ⑦を、ドアパネルに取り付けてください。

かくしセンターヒンジ⑦の軸心が、曲がったり食い違ったりしないようにしてください。すき間の調整ができます。

(5) ドアキャッチ⑥を取り付けてください。

※ 下穴が2個開いています。後で調整するので軽くねじ止めしてください。

(6) 2組のドアセットをお使いのときは、アライナ⑭(オプション)を取り付けてください。

<1> アライナ⑭を各スライド側ドアパネルの戸先に取り付けてください。

※ 下穴が2個開いています。後で調整するので軽くねじ止めしてください。

8 ドアパネルを吊ります。

※ 上ストッパ⑧および下ストッパ⑨を固定していたねじをゆるめてください。

※ 下レール⑪bの上に"かいもの"⑱を置いてください。

(1) ドアパネルを吊ってください。

<1> 下レール⑪bに、ドアパネルの下ガイドブロック③dまたは/および④dを差し込んでください。

<2> 上ブラケット偏心ボルト②cを上ローラ①の丸い穴(図では向こう側にあります。)に引っ掛けてください。

<3> 六角穴付きボルト M5×16⑩cを、六角棒スパナ 呼び 4 で軽く締めてください。ここでは、まだ、きつく締めないでください。

<4> "かいもの"⑱を外してください。

(2) もう一方のドアパネルを吊ってください。

上と同じ方法で、もう一方のドアパネルを吊ってください。

<1> "かいもの"⑱を外してください。

9 ドアパネルおよびその付属品を調整します。

(1) ドアパネルの高さを調整してください。

<1> 上ブラケット偏心ボルト②cを六角棒スパナ 呼び 4 で回して、ドアの高さを調整してください。

※ 上下合わせて 4 mm調整できます。

<2> ドアの高さが決まったら、六角穴付きボルト M5×16⑩cを六角棒スパナ 呼び 4 で締め込んでください。

(2) ドアキャッチ⑥の位置を調整してください。

<1> ドアが閉じたとき、ドアキャッチ⑥の上端が上レール⑪aに引っ掛かる位置を見つけてください。

<2> 位置が決まったら、ドアキャッチ⑥のまだ下穴を開けていない穴の下穴を開け、ねじで固定してください。

<3> すでに取り付けてあるねじも、締めてください。

(3) アライナ⑭(オプション)の位置を調整してください(ドアセットを2組以上を組み合わせるとき)。

<1> 両方のドアセットを組み合わせて、位置を決めてください。

<2> 位置が決まったら、アライナ⑭のまだ穴を開けていない穴の下穴を開け、ねじで固定してください。

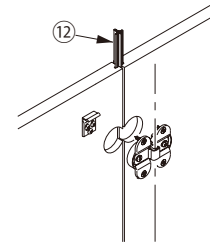
<3> すでに取り付けてあるねじも、締めてください。

(4) 上ストッパ⑧を固定してください。

<1> ドアを閉めたときの上ローラ①の位置に合わせて、上ストッパ⑧の位置を決め、ねじで下側から上レール⑪aに固定してください。

(5) 下ストッパ⑨を固定してください。

<1> ドアを閉めたときの下ガイド③または/および④の位置に合わせて、下ストッパ⑨の位置を決め、ねじで上側から下レール⑪bに固定してください。



〔図Ⅲ-9-1〕

(6) ドアにシール⑫(オプション)を組み込んでください。

<1> ドアパネルの溝に、ドアにシール⑫を組み込んでください。

10 折れ戸用接続エレメント(オプション)を組み込みます。

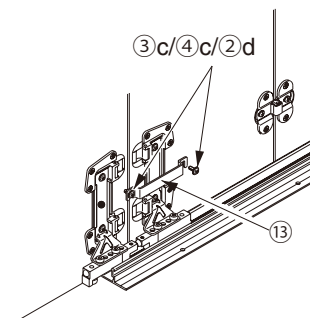
※ 2組のドアを固定して連結することができます。

(1) 上ブラケットアダプタ②bを上ブラケット本体②aに止めている上ブラケット固定ねじ②dのうち、下側のねじを外してください。

(2) 折れ戸用接続エレメント⑬に(1)で外した同じねじを差し込み、上ブラケットアダプタ②bのねじ穴を通して上ブラケット本体②aに固定してください。

(3) 下ガイドアダプタ③bまたは/および④bを下ガイド本体③aまたは/および④aに止めている下ガイドアダプタ固定ねじ③cまたは/および④cのうち、上側のねじを外してください。

(4) 折れ戸用接続エレメント⑬に(1)で外した同じねじを差し込み、下ガイドアダプタ③bまたは/および④bのねじ穴を通して下ガイド本体③aまたは/および④aに固定してください。



〔図Ⅲ-10-1〕

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03 (3864) 1122**
受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>